

アセットバック証券オープン (毎月分配型) Cコース／Dコース

運用報告書(全体版)

第151期(決算日2014年10月6日) 第152期(決算日2014年11月5日) 第153期(決算日2014年12月5日)
第154期(決算日2015年1月5日) 第155期(決算日2015年2月5日) 第156期(決算日2015年3月5日)

作成対象期間(2014年9月6日～2015年3月5日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Cコース		Dコース
商 品 分 類	追加型投信／海外／債券		
信 託 期 間	2002年3月1日以降、無期限とします。		
運 用 方 針	運用にあたっては、アセットバック証券の独特なリターン特性やリスク特性の分析に基づき、主要な3つのセクター（MBS(Mortgage Backed Securities)、CMBS(Commercial Mortgage Backed Securities)、ABS(Asset Backed Securities)）への資産配分、個別投資銘柄選定、デュレーションマネジメントを行い、アクティブに運用することを基本とします。		
	実質組入外貨建て資産については、原則として米国ドルを用いて 為替ヘッジを行います。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	アセットバック証券オープン Cコース／Dコース	アセットバック証券オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。	
	アセットバック証券 オープンマザーファンド	米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券を主要投資対象とします。 なお、一部米国国債、米国政府機関の発行した債券および米国ドル建て以外のアセットバック証券に投資する場合もあります。	
主な投資制限	アセットバック証券オープン Cコース／Dコース	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への投資は新株予約権付社債（転換社債）を転換したもの等に限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。	
	アセットバック証券 オープンマザーファンド	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として利子・配当収入等を中心に安定分配を行います。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行います。		

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Cコース>

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			参 考	指 数		債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配	み 金	期 騰 落 中 率		期 騰 落	中 率			
	円		円	%			%	%	%	百万円
127期(2012年10月5日)	9,846		20	0.9	141.97	0.1	97.5	—	—	908
128期(2012年11月5日)	9,844		20	0.2	141.40	△0.4	100.0	—	—	896
129期(2012年12月5日)	9,854		20	0.3	142.22	0.6	97.3	—	—	883
130期(2013年1月7日)	9,800		20	△0.3	141.08	△0.8	102.0	—	—	876
131期(2013年2月5日)	9,735		20	△0.5	141.07	△0.0	101.6	—	—	858
132期(2013年3月5日)	9,730		20	0.2	141.84	0.5	100.2	—	—	850
133期(2013年4月5日)	9,754		20	0.5	142.48	0.5	102.2	—	—	850
134期(2013年5月7日)	9,749		20	0.2	142.27	△0.1	98.7	—	—	831
135期(2013年6月5日)	9,561		20	△1.7	140.38	△1.3	97.5	—	—	814
136期(2013年7月5日)	9,338		20	△2.1	138.23	△1.5	101.2	—	—	791
137期(2013年8月5日)	9,367		20	0.5	138.90	0.5	97.5	—	—	793
138期(2013年9月5日)	9,231		20	△1.2	136.70	△1.6	100.0	—	—	779
139期(2013年10月7日)	9,360		20	1.6	139.17	1.8	91.1	—	—	788
140期(2013年11月5日)	9,395		20	0.6	139.84	0.5	97.5	—	—	791
141期(2013年12月5日)	9,351		20	△0.3	139.57	△0.2	101.5	—	—	783
142期(2014年1月6日)	9,272		20	△0.6	138.09	△1.1	99.4	—	—	769
143期(2014年2月5日)	9,408		20	1.7	140.16	1.5	94.3	—	—	768
144期(2014年3月5日)	9,391		20	0.0	139.99	△0.1	94.8	—	—	766
145期(2014年4月7日)	9,343		20	△0.3	139.17	△0.6	98.3	—	—	754
146期(2014年5月7日)	9,379		20	0.6	139.56	0.3	96.2	—	—	737
147期(2014年6月5日)	9,385		20	0.3	140.10	0.4	97.6	—	—	730
148期(2014年7月7日)	9,378		20	0.1	139.70	△0.3	97.5	—	—	725
149期(2014年8月5日)	9,397		20	0.4	140.43	0.5	95.6	—	—	723
150期(2014年9月5日)	9,399		20	0.2	140.31	△0.1	100.8	—	—	718
151期(2014年10月6日)	9,369		20	△0.1	140.39	0.1	99.4	—	—	714
152期(2014年11月5日)	9,415		20	0.7	141.28	0.6	99.3	—	—	712
153期(2014年12月5日)	9,442		20	0.5	141.87	0.4	103.7	—	—	707
154期(2015年1月5日)	9,439		20	0.2	141.81	△0.0	97.8	—	—	704
155期(2015年2月5日)	9,543		20	1.3	144.21	1.7	95.6	—	—	708
156期(2015年3月5日)	9,429		20	△1.0	142.22	△1.4	96.9	—	—	697

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

* 参考指数（＝BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース））は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（現地通貨ベース）をもとに、当社において円ヘッジおよび円換算したものです。

なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算しております。

（出所および許可）バンクオブアメリカ・メリルリンチ、（出所）ブルームバーグ

＜Ｃコース＞

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	参 考	指 数	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率		騰 落 率		
第151期	(期 首) 2014年 9 月 5 日	円 9,399	% —	140.31	% —	% 100.8	% —
	9 月末	9,375	△0.3	140.13	△0.1	97.1	—
	(期 末) 2014年10月 6 日	9,389	△0.1	140.39	0.1	99.4	—
第152期	(期 首) 2014年10月 6 日	9,369	—	140.39	—	99.4	—
	10月末	9,449	0.9	141.61	0.9	95.3	—
	(期 末) 2014年11月 5 日	9,435	0.7	141.28	0.6	99.3	—
第153期	(期 首) 2014年11月 5 日	9,415	—	141.28	—	99.3	—
	11月末	9,471	0.6	142.05	0.5	102.4	—
	(期 末) 2014年12月 5 日	9,462	0.5	141.87	0.4	103.7	—
第154期	(期 首) 2014年12月 5 日	9,442	—	141.87	—	103.7	—
	12月末	9,425	△0.2	141.19	△0.5	95.2	—
	(期 末) 2015年 1 月 5 日	9,459	0.2	141.81	△0.0	97.8	—
第155期	(期 首) 2015年 1 月 5 日	9,439	—	141.81	—	97.8	—
	1 月末	9,574	1.4	144.25	1.7	96.3	—
	(期 末) 2015年 2 月 5 日	9,563	1.3	144.21	1.7	95.6	—
第156期	(期 首) 2015年 2 月 5 日	9,543	—	144.21	—	95.6	—
	2 月末	9,475	△0.7	142.71	△1.0	94.7	—
	(期 末) 2015年 3 月 5 日	9,449	△1.0	142.22	△1.4	96.9	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

<Dコース>

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			参 考	指 数		債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配	み 金	期 騰 落 中 率		期 騰 落 中 率				
	円		円	%			%	%	%	百万円
127期(2012年10月5日)	6,035		15	1.0	103.56		0.2	97.7	—	1,578
128期(2012年11月5日)	6,175		15	2.6	105.68		2.0	97.9	—	1,585
129期(2012年12月5日)	6,287		15	2.1	108.23		2.4	97.6	—	1,594
130期(2013年1月7日)	6,713		15	7.0	115.47		6.7	95.2	—	1,690
131期(2013年2月5日)	6,981		15	4.2	121.03		4.8	97.6	—	1,725
132期(2013年3月5日)	7,061		15	1.4	123.19		1.8	97.5	—	1,720
133期(2013年4月5日)	7,341		15	4.2	128.46		4.3	97.5	—	1,765
134期(2013年5月7日)	7,498		15	2.3	131.19		2.1	97.3	—	1,782
135期(2013年6月5日)	7,441		15	△0.6	130.94		△0.2	97.1	—	1,740
136期(2013年7月5日)	7,277		15	△2.0	129.10		△1.4	97.6	—	1,683
137期(2013年8月5日)	7,219		15	△0.6	128.19		△0.7	97.5	—	1,640
138期(2013年9月5日)	7,155		15	△0.7	126.90		△1.0	97.5	—	1,608
139期(2013年10月7日)	7,081		15	△0.8	126.02		△0.7	91.6	—	1,575
140期(2013年11月5日)	7,204		15	1.9	128.39		1.9	97.3	—	1,583
141期(2013年12月5日)	7,448		15	3.6	133.21		3.8	97.8	—	1,576
142期(2014年1月6日)	7,544		15	1.5	134.65		1.1	97.3	—	1,559
143期(2014年2月5日)	7,437		15	△1.2	132.70		△1.4	95.9	—	1,527
144期(2014年3月5日)	7,473		15	0.7	133.42		0.5	96.4	—	1,527
145期(2014年4月7日)	7,505		15	0.6	133.91		0.4	97.3	—	1,482
146期(2014年5月7日)	7,422		15	△0.9	132.24		△1.2	97.5	—	1,448
147期(2014年6月5日)	7,504		15	1.3	134.15		1.4	97.5	—	1,441
148期(2014年7月7日)	7,469		15	△0.3	133.24		△0.7	97.4	—	1,423
149期(2014年8月5日)	7,517		15	0.8	134.55		1.0	94.6	—	1,415
150期(2014年9月5日)	7,732		15	3.1	138.33		2.8	97.5	—	1,430
151期(2014年10月6日)	8,004		15	3.7	143.86		4.0	94.7	—	1,470
152期(2014年11月5日)	8,334		15	4.3	150.07		4.3	94.6	—	1,520
153期(2014年12月5日)	8,801		15	5.8	158.91		5.9	97.6	—	1,566
154期(2015年1月5日)	8,844		15	0.7	159.58		0.4	97.3	—	1,560
155期(2015年2月5日)	8,727		15	△1.2	158.20		△0.9	97.1	—	1,510
156期(2015年3月5日)	8,811		15	1.1	159.44		0.8	96.3	—	1,508

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

* 参考指数（＝BofA・メルリリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース））は、BofA・メルリリンチ米国5年国債インデックス（現地通貨ベース）をもとに、当社において円換算したものです。

なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算しております。

（出所および許可）バンクオブアメリカ・メルリリンチ、（出所）ブルームバーグ

＜Ｄコース＞

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 数	騰 落 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
第151期	(期 首) 2014年 9 月 5 日	円 7,732	% —	138.33	% —	% 97.5	% —
	9 月末	7,991	3.3	143.27	3.6	91.7	—
	(期 末) 2014年10月 6 日	8,019	3.7	143.86	4.0	94.7	—
第152期	(期 首) 2014年10月 6 日	8,004	—	143.86	—	94.7	—
	10月末	8,049	0.6	144.68	0.6	94.3	—
	(期 末) 2014年11月 5 日	8,349	4.3	150.07	4.3	94.6	—
第153期	(期 首) 2014年11月 5 日	8,334	—	150.07	—	94.6	—
	11月末	8,709	4.5	156.96	4.6	96.8	—
	(期 末) 2014年12月 5 日	8,816	5.8	158.91	5.9	97.6	—
第154期	(期 首) 2014年12月 5 日	8,801	—	158.91	—	97.6	—
	12月末	8,843	0.5	159.15	0.2	94.5	—
	(期 末) 2015年 1 月 5 日	8,859	0.7	159.58	0.4	97.3	—
第155期	(期 首) 2015年 1 月 5 日	8,844	—	159.58	—	97.3	—
	1 月末	8,822	△0.2	159.55	△0.0	97.0	—
	(期 末) 2015年 2 月 5 日	8,742	△1.2	158.20	△0.9	97.1	—
第156期	(期 首) 2015年 2 月 5 日	8,727	—	158.20	—	97.1	—
	2 月末	8,811	1.0	159.27	0.7	94.5	—
	(期 末) 2015年 3 月 5 日	8,826	1.1	159.44	0.8	96.3	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

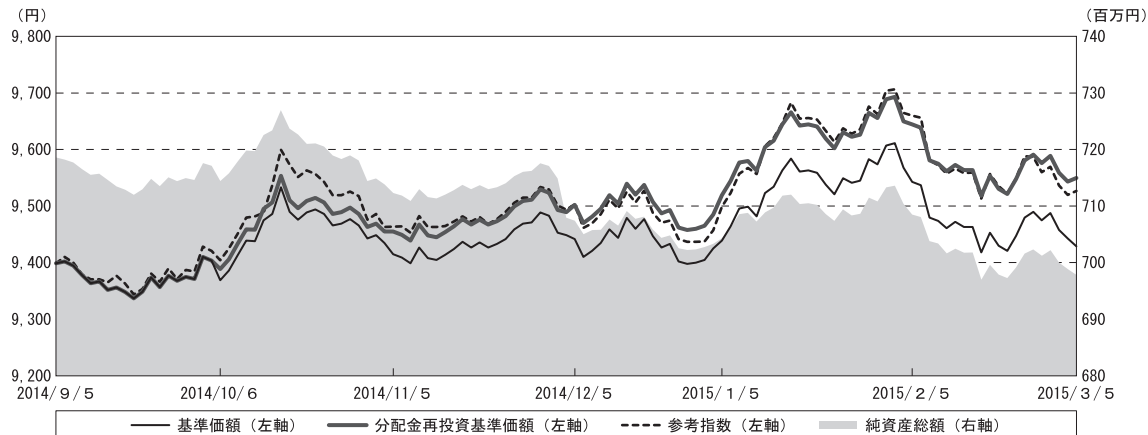
* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

＜Ｃコース＞

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第151期首：9,399円

第156期末：9,429円（既払分配金（税込み）：120円）

騰落率：1.6%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2014年9月5日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）です。作成期首（2014年9月5日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の9,399円から当作成期末には9,429円（分配後）となりました。

＜Ｃコース＞

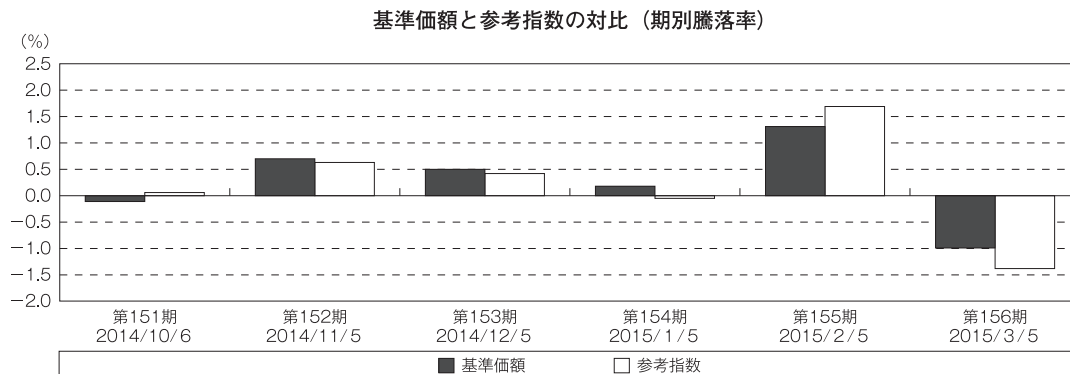
- ・ 2014年10月に、米国の利上げ観測が一時後退したことや、FOMC（米連邦公開市場委員会）が資産購入プログラムの終了を決定したものの、保有する政府機関債とMBSの償還元本をMBSに再投資する政策を維持することなどから、アセットバック市場が上昇したこと
- ・ 2015年1月に、原油価格の下落やギリシャのユーロ離脱懸念の高まり、2014年12月米雇用統計で時間当たり賃金の伸び率が前月比でマイナスとなったことに加え、ECB（欧州中央銀行）によるQE（量的金融緩和）実施への期待などから、アセットバック市場が上昇したこと
- ・ 2015年2月に、原油価格の反発やギリシャ情勢の改善期待に加えて、米雇用統計など一部の経済指標に改善が示されたことなどから、アセットバック市場が下落したこと

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）の+1.4%に対し、基準価額※は+1.6%となりました。主な差異の要因は、[アセットバック証券オープンマザーファンド] でアセットバック証券を参考指数より多めに保有したことなどでした。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）です。

< Cコース >

◎分配金

収益分配金については、各期の利子・配当収入、諸経費などを勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	2014年9月6日～ 2014年10月6日	2014年10月7日～ 2014年11月5日	2014年11月6日～ 2014年12月5日	2014年12月6日～ 2015年1月5日	2015年1月6日～ 2015年2月5日	2015年2月6日～ 2015年3月5日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.213%	0.212%	0.211%	0.211%	0.209%	0.212%
当期の収益	20	20	20	20	20	16
当期の収益以外	—	—	—	—	—	3
翌期繰越分配対象額	3,485	3,490	3,492	3,492	3,498	3,494

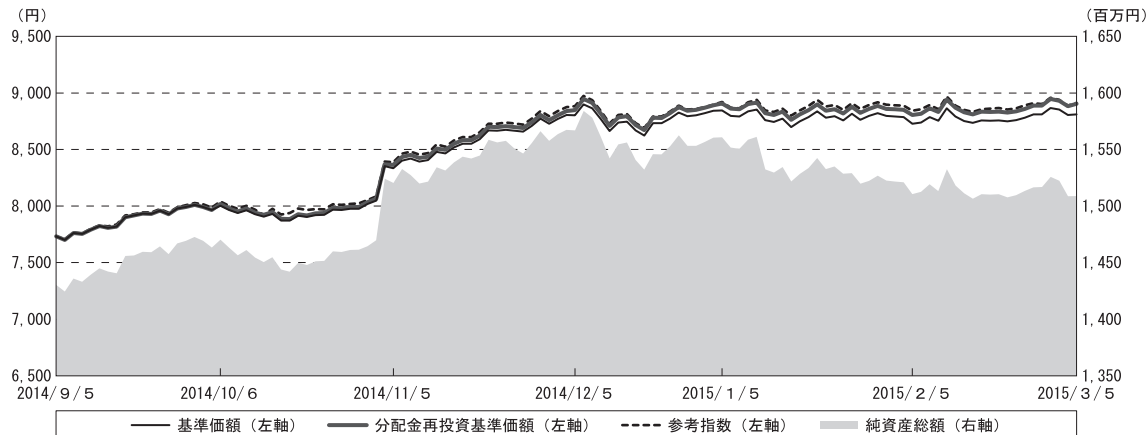
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜Ｄコース＞

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第151期首：7,732円

第156期末：8,811円（既払分配金（税込み）：90円）

騰 落 率：15.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2014年9月5日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。作成期首（2014年9月5日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の7,732円から当作成期末には8,811円（分配後）となりました。

＜Ｄコース＞

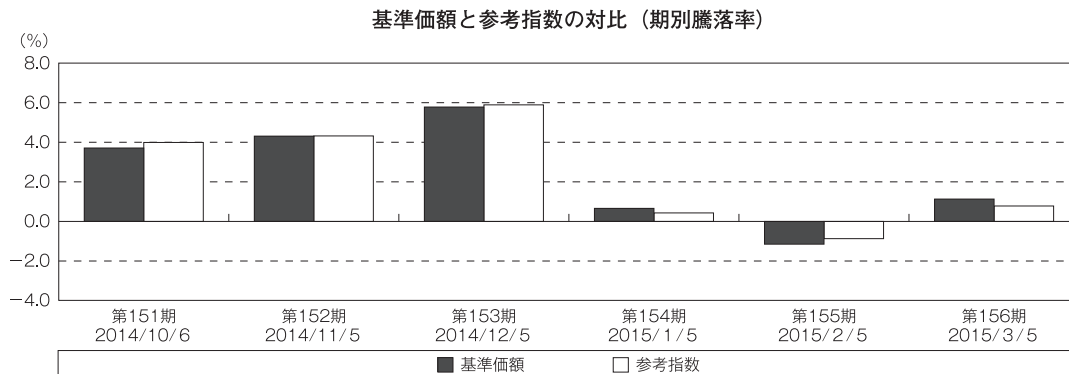
- ・2014年10月に、米国の利上げ観測が一時後退したことや、FOMC（米連邦公開市場委員会）が資産購入プログラムの終了を決定したものの、保有する政府機関債とMBSの償還元本をMBSに再投資する政策を維持することなどから、アセットバック市場が上昇したこと
- ・2015年1月に、原油価格の下落やギリシャのユーロ離脱懸念の高まり、2014年12月米雇用統計で時間当たり賃金の伸び率が前月比でマイナスとなったことに加え、ECB（欧州中央銀行）によるQE（量的金融緩和）実施への期待などから、アセットバック市場が上昇したこと
- ・2015年2月に、原油価格の反発やギリシャ情勢の改善期待に加えて、米雇用統計など一部の経済指標に改善が示されたことなどから、アセットバック市場が下落したこと
- ・当作成期首から当作成期末まで、概ね円安・ドル高方向に為替相場が推移したこと

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）の＋15.3%に対し、基準価額※は＋15.2%となりました。主な差異の要因は、[アセットバック証券オープンマザーファンド] でアセットバック証券を参考指数より多めに保有したことなどでした。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。

<Dコース>

◎分配金

収益分配金については、各期の利子・配当収入、諸経費などを勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	2014年9月6日～ 2014年10月6日	2014年10月7日～ 2014年11月5日	2014年11月6日～ 2014年12月5日	2014年12月6日～ 2015年1月5日	2015年1月6日～ 2015年2月5日	2015年2月6日～ 2015年3月5日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.187%	15 0.180%	15 0.170%	15 0.169%	15 0.172%	15 0.170%
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,096	1,104	1,111	1,120	1,123	1,129

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Cコース／Dコース>

○投資環境

米国債券市場は、当作成期間では、利回り低下（価格上昇）傾向で推移しました。米国の主要経済指標や米国の企業決算、FRB（米連邦準備制度理事会）の動向などに左右されました。

アセットバック証券市場は、当作成期間では、利回り低下（価格上昇）傾向で推移しました。米国の主要経済指標やFRBの動向、原油価格などに左右されました。

為替市場では、当作成期間では、10月末に日銀が予想外の追加金融緩和を決定したことを背景に、ドルに対して円安が進行しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[アセットバック証券オープンCコース]

主要投資対象である「アセットバック証券オープンマザーファンド」受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクを低減させました。

[アセットバック証券オープンDコース]

主要投資対象である「アセットバック証券オープンマザーファンド」受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行いませんでした。

[アセットバック証券オープンマザーファンド]

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

上記の運用方針のもと、当期間は以下のような運用を行いました。

- ・セクター配分は、MBSやCMBS等のアセットバック証券を中心とした投資を維持しました。
- ・ファンドの平均デュレーションは、市場変動に応じて調整しました。
- ・組入債券の信用格付けについては、保守的なスタンスを継続し、投資適格債中心のポートフォリオを維持しました。

<Cコース／Dコース>

◎今後の運用方針

[アセットバック証券オープンマザーファンド]

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

[アセットバック証券オープンCコース]

主要投資対象である「アセットバック証券オープンマザーファンド」受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図る方針です。

[アセットバック証券オープンDコース]

主要投資対象である「アセットバック証券オープンマザーファンド」受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Cコース>

○ 1 万口当たりの費用明細 (2014年 9 月 6 日～2015年 3 月 5 日)

項 目	第151期～第156期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 52	% 0.546	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(29)	(0.306)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(20)	(0.214)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	3	0.032	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.004)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	55	0.578	
作成期間の平均基準価額は、9,461円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況 (2014年 9 月 6 日～2015年 3 月 5 日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第151期～第156期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 2,568	千円 5,800	千口 69,856	千円 157,800

* 単位未満は切り捨て。

< Cコース >

○利害関係人との取引状況等 (2014年 9 月 6 日～2015年 3 月 5 日)

利害関係人との取引状況

<アセットバック証券オープンCコース>

区 分	第151期～第156期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 2,493	百万円 8	% 0.3	百万円 2,356	百万円 －	% －

<アセットバック証券オープンマザーファンド>

区 分	第151期～第156期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 5	百万円 5	% 100.0	百万円 308	百万円 83	% 26.9

平均保有割合 32.3%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細 (2015年 3 月 5 日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第150期末	第156期末	
	口 数	口 数	評 価 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 357,296	千口 290,007	千円 695,293

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

<Cコース>

○投資信託財産の構成

(2015年3月5日現在)

項 目	第156期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アセットバック証券オープンマザーファンド	695,293	98.7
コール・ローン等、その他	9,150	1.3
投資信託財産総額	704,443	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*アセットバック証券オープンマザーファンドにおいて、第156期末における外貨建て純資産（2,178,601千円）の投資信託財産総額（2,203,032千円）に対する比率は98.9%です。

*外貨建て資産は、第156期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=119.80円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末	第156期末
	2014年10月6日現在	2014年11月5日現在	2014年12月5日現在	2015年1月5日現在	2015年2月5日現在	2015年3月5日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,446,181,751	1,444,384,644	1,455,482,751	1,393,952,475	1,388,184,217	1,385,643,975
コール・ローン等	6,906,694	6,860,692	7,313,195	6,866,256	6,555,948	6,987,536
アセットバック証券オープンマザーファンド(評価額)	742,776,345	740,747,330	744,424,443	700,687,716	690,786,025	695,293,554
未収入金	696,498,700	696,776,600	703,745,100	686,398,490	690,842,233	683,362,873
未収利息	12	22	13	13	11	12
(B) 負債	731,747,831	732,067,952	748,065,095	689,622,555	679,672,863	687,795,613
未払金	729,552,060	729,667,220	739,321,984	686,531,550	677,522,886	685,721,150
未払収益分配金	1,525,180	1,513,119	1,498,439	1,492,439	1,484,919	1,480,219
未払解約金	—	235,175	6,597,500	937,700	—	—
未払信託報酬	669,286	651,171	645,912	659,584	663,767	593,091
その他未払費用	1,305	1,267	1,260	1,282	1,291	1,153
(C) 純資産総額(A－B)	714,433,920	712,316,692	707,417,656	704,329,920	708,511,354	697,848,362
元本	762,590,000	756,559,713	749,219,713	746,219,713	742,459,713	740,109,713
次期繰越損益金	△ 48,156,080	△ 44,243,021	△ 41,802,057	△ 41,889,793	△ 33,948,359	△ 42,261,351
(D) 受益権総口数	762,590,000口	756,559,713口	749,219,713口	746,219,713口	742,459,713口	740,109,713口
1万口当たり基準価額(C/D)	9.369円	9.415円	9.442円	9.439円	9.543円	9.429円

(注) 第151期首元本額764百万円、第151～第156期中追加設定元本額0百万円、第151～第156期中一部解約元本額24百万円、第156期末計算口数当たり純資産額9,429円。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額2,479,933円。('14年4月25日～'14年10月24日、アセットバック証券オープンマザーファンド)

< Cコース >

○損益の状況

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	2014年9月6日～ 2014年10月6日	2014年10月7日～ 2014年11月5日	2014年11月6日～ 2014年12月5日	2014年12月6日～ 2015年1月5日	2015年1月6日～ 2015年2月5日	2015年2月6日～ 2015年3月5日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	354	387	385	377	435	354
受取利息	354	387	385	377	435	354
(B) 有価証券売買損益	△ 139,220	5,701,158	4,139,216	1,889,650	9,869,796	△ 6,352,873
売買益	38,300,962	62,050,153	60,310,885	45,988,420	18,349,397	8,729,345
売買損	△ 38,440,182	△ 56,348,995	△ 56,171,669	△ 44,098,770	△ 8,479,601	△ 15,082,218
(C) 信託報酬等	△ 670,591	△ 674,038	△ 647,172	△ 660,866	△ 665,058	△ 594,244
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	△ 809,457	5,027,507	3,492,429	1,229,161	9,205,173	△ 6,946,763
(E) 前期繰越損益金	△ 49,816,563	△ 51,707,989	△ 47,708,300	△ 45,523,102	△ 45,545,567	△ 37,699,052
(F) 追加信託差損益金	3,995,120	3,950,580	3,912,253	3,896,587	3,876,954	3,864,683
(配当等相当額)	(28,608,739)	(28,448,387)	(28,172,387)	(28,060,118)	(27,918,731)	(27,830,364)
(売買損益相当額)	(△ 24,613,619)	(△ 24,497,807)	(△ 24,260,134)	(△ 24,163,531)	(△ 24,041,777)	(△ 23,965,681)
(G) 計(D+E+F)	△ 46,630,900	△ 42,729,902	△ 40,303,618	△ 40,397,354	△ 32,463,440	△ 40,781,132
(H) 収益分配金	△ 1,525,180	△ 1,513,119	△ 1,498,439	△ 1,492,439	△ 1,484,919	△ 1,480,219
次期繰越損益金(G+H)	△ 48,156,080	△ 44,243,021	△ 41,802,057	△ 41,889,793	△ 33,948,359	△ 42,261,351
追加信託差損益金	3,995,120	3,950,580	3,912,253	3,896,587	3,876,954	3,864,683
(配当等相当額)	(28,609,378)	(28,448,387)	(28,172,927)	(28,060,118)	(27,918,731)	(27,830,364)
(売買損益相当額)	(△ 24,614,258)	(△ 24,497,807)	(△ 24,260,674)	(△ 24,163,531)	(△ 24,041,777)	(△ 23,965,681)
分配準備積立金	237,220,805	235,611,063	233,475,123	232,581,533	231,812,172	230,815,602
繰越損益金	△289,372,005	△283,804,664	△279,189,433	△278,367,913	△269,637,485	△276,941,636

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2014年9月6日～2015年3月5日) は以下の通りです。

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	2014年9月6日～ 2014年10月6日	2014年10月7日～ 2014年11月5日	2014年11月6日～ 2014年12月5日	2014年12月6日～ 2015年1月5日	2015年1月6日～ 2015年2月5日	2015年2月6日～ 2015年3月5日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,769,702円	1,827,995円	1,630,617円	1,525,560円	1,877,365円	1,210,832円
b. 有価証券売買損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	28,609,378円	28,448,387円	28,172,927円	28,060,118円	27,918,731円	27,830,364円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	236,976,283円	235,296,187円	233,342,945円	232,548,412円	231,419,726円	231,084,989円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	267,355,363円	265,572,569円	263,146,489円	262,134,090円	261,215,822円	260,126,185円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,505円	3,510円	3,512円	3,512円	3,518円	3,514円
g. 分配金	1,525,180円	1,513,119円	1,498,439円	1,492,439円	1,484,919円	1,480,219円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

< Cコース >

○分配金のお知らせ

	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

- ①金額指定による受益権の取得申込および信託の一部解約を可能にする所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2014年10月1日>
- ②運用報告書（全体版）について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2014年12月1日>
- ③デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日：2015年1月30日>

<Dコース>

〇1万口当たりの費用明細

(2014年9月6日～2015年3月5日)

項 目	第151期～第156期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 47	% 0.546	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(26)	(0.302)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(19)	(0.217)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	2	0.028	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	49	0.574	
作成期間の平均基準価額は、8,537円です。			

*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

〇売買及び取引の状況

(2014年9月6日～2015年3月5日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第151期～第156期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 64,278	千円 147,500

*単位未満は切り捨て。

<Dコース>

○利害関係人との取引状況等

(2014年9月6日～2015年3月5日)

利害関係人との取引状況

<アセットバック証券オープンDコース>

該当事項はございません。

<アセットバック証券オープンマザーファンド>

区 分	第151期～第156期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 5	百万円 5	% 100.0	百万円 308	百万円 83	% 26.9

平均保有割合 67.7%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年3月5日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第150期末	第156期末	
	口 数	口 数	評 価 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 687,731	千口 623,453	千円 1,494,729

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

<Dコース>

○投資信託財産の構成

(2015年3月5日現在)

項 目	第156期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アセットバック証券オープンマザーファンド	1,494,729	98.3
コール・ローン等、その他	25,236	1.7
投資信託財産総額	1,519,965	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*アセットバック証券オープンマザーファンドにおいて、第156期末における外貨建て純資産（2,178,601千円）の投資信託財産総額（2,203,032千円）に対する比率は98.9%です。

*外貨建て資産は、第156期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=119.80円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末	第156期末
	2014年10月6日現在	2014年11月5日現在	2014年12月5日現在	2015年1月5日現在	2015年2月5日現在	2015年3月5日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,475,690,546	1,525,945,473	1,575,480,212	1,564,882,210	1,514,622,877	1,519,965,679
コール・ローン等	13,672,933	14,539,081	14,801,316	14,280,647	15,392,952	14,336,593
アセットバック証券オープンマザーファンド(評価額)	1,456,617,590	1,507,306,345	1,550,778,870	1,545,301,535	1,495,129,898	1,494,729,061
未収入金	5,400,000	4,100,000	9,900,000	5,300,000	4,100,000	10,900,000
未収利息	23	47	26	28	27	25
(B) 負債	5,352,114	5,512,348	8,609,562	4,105,899	4,053,850	11,102,978
未払収益分配金	2,755,605	2,736,480	2,670,572	2,647,073	2,596,434	2,568,681
未払解約金	1,235,830	1,452,100	4,537,420	—	17,532	7,251,958
未払信託報酬	1,358,027	1,321,187	1,398,837	1,455,979	1,437,076	1,279,837
その他未払費用	2,652	2,581	2,733	2,847	2,808	2,502
(C) 純資産総額(A－B)	1,470,338,432	1,520,433,125	1,566,870,650	1,560,776,311	1,510,569,027	1,508,862,701
元本	1,837,070,000	1,824,320,000	1,780,381,730	1,764,715,343	1,730,956,656	1,712,454,340
次期繰越損益金	△ 366,731,568	△ 303,886,875	△ 213,511,080	△ 203,939,032	△ 220,387,629	△ 203,591,639
(D) 受益権総口数	1,837,070,000口	1,824,320,000口	1,780,381,730口	1,764,715,343口	1,730,956,656口	1,712,454,340口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,004円	8,334円	8,801円	8,844円	8,727円	8,811円

(注) 第151期首元本額1,850百万円、第151～第156期中追加設定元本額1百万円、第151～第156期中一部解約元本額138百万円、第156期末計算口数当たり純資産額8,811円。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額2,479,933円。('14年4月25日～'14年10月24日、アセットバック証券オープンマザーファンド)

<Dコース>

○損益の状況

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	2014年9月6日～ 2014年10月6日	2014年10月7日～ 2014年11月5日	2014年11月6日～ 2014年12月5日	2014年12月6日～ 2015年1月5日	2015年1月6日～ 2015年2月5日	2015年2月6日～ 2015年3月5日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	780	786	815	872	925	753
受取利息	780	786	815	872	925	753
(B) 有価証券売買損益	54,063,759	64,329,806	87,006,448	11,758,809	△ 16,400,607	18,246,598
売買益	54,220,508	64,394,488	87,972,525	11,841,174	169,072	18,399,125
売買損	△ 156,749	△ 64,682	△ 966,077	△ 82,365	△ 16,569,679	△ 152,527
(C) 信託報酬等	△ 1,360,679	△ 1,323,768	△ 1,401,570	△ 1,458,826	△ 1,439,884	△ 1,282,339
(D) 当期損益金(A+B+C)	52,703,860	63,006,824	85,605,693	10,300,855	△ 17,839,566	16,965,012
(E) 前期繰越損益金	△295,313,001	△243,632,732	△178,788,444	△ 94,970,381	△ 85,544,767	△104,803,363
(F) 追加信託差損益金	△121,366,822	△120,524,487	△117,657,757	△116,622,433	△114,406,862	△113,184,607
(配当等相当額)	(32,360,046)	(32,135,659)	(31,423,100)	(31,146,593)	(30,579,112)	(30,253,312)
(売買損益相当額)	(△153,726,868)	(△152,660,146)	(△149,080,857)	(△147,769,026)	(△144,985,974)	(△143,437,919)
(G) 計(D+E+F)	△363,975,963	△301,150,395	△210,840,508	△201,291,959	△217,791,195	△201,022,958
(H) 収益分配金	△ 2,755,605	△ 2,736,480	△ 2,670,572	△ 2,647,073	△ 2,596,434	△ 2,568,681
次期繰越損益金(G+H)	△366,731,568	△303,886,875	△213,511,080	△203,939,032	△220,387,629	△203,591,639
追加信託差損益金	△121,366,822	△120,524,487	△117,657,757	△116,622,433	△114,406,862	△113,184,607
(配当等相当額)	(32,360,251)	(32,135,659)	(31,423,100)	(31,148,398)	(30,579,112)	(30,253,974)
(売買損益相当額)	(△153,727,073)	(△152,660,146)	(△149,080,857)	(△147,770,831)	(△144,985,974)	(△143,438,581)
分配準備積立金	169,037,111	169,283,778	166,494,689	166,640,454	163,829,141	163,156,259
繰越損益金	△414,401,857	△352,646,166	△262,348,012	△253,957,053	△269,809,908	△253,563,291

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2014年9月6日～2015年3月5日) は以下の通りです。

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	2014年9月6日～ 2014年10月6日	2014年10月7日～ 2014年11月5日	2014年11月6日～ 2014年12月5日	2014年12月6日～ 2015年1月5日	2015年1月6日～ 2015年2月5日	2015年2月6日～ 2015年3月5日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,610,156円	4,127,248円	3,928,816円	4,218,416円	2,911,921円	3,604,164円
b. 有価証券売買損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	32,360,251円	32,135,659円	31,423,100円	31,148,398円	30,579,112円	30,253,974円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	167,182,560円	167,893,010円	165,236,445円	165,069,111円	163,513,654円	162,120,776円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	204,152,967円	204,155,917円	200,588,361円	200,435,925円	197,004,687円	195,978,914円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,111円	1,119円	1,126円	1,135円	1,138円	1,144円
g. 分配金	2,755,605円	2,736,480円	2,670,572円	2,647,073円	2,596,434円	2,568,681円
h. 分配金(1万口当たり)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

＜Ｄコース＞

○分配金のお知らせ

	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
1 万円当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①金額指定による受益権の取得申込および信託の一部解約を可能にする所要の約款変更を行いました。
 ＜変更適用日：2014年10月 1 日＞

②運用報告書（全体版）について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。
 ＜変更適用日：2014年12月 1 日＞

③デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
 ＜変更適用日：2015年 1 月30日＞

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2015年3月5日現在)

<アセットバック証券オープンマザーファンド>

下記は、アセットバック証券オープンマザーファンド全体(913,460千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第156期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	92,216	17,770	2,128,954	97.2	1.9	78.1	19.2	—
合 計	92,216	17,770	2,128,954	97.2	1.9	78.1	19.2	—

* 邦貨換算金額は、第156期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
* 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。
* 金額の単位未満は切り捨て。
* 一印は組み入れなし。
* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
* スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ・インバスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスによる格付けを採用しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			第156期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
	国債証券	US TREASURY N/B	1.75	500	494	59,198	2022/ 2 /28
	特殊債券 (除く金融債)	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.086	2,000	2,025	242,625	2019/ 3 /25
		FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.768	495	509	61,074	2024/ 4 /25
		FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.13	1,000	1,049	125,788	2047/ 8 /25
		FHMS K033 A2	3.06	4,522	4,694	562,389	2023/ 7 /25
		FHMS K503 A2	2.456	1,000	1,023	122,673	2019/ 8 /25
		FHMS K706 A2	2.323	350	358	42,889	2018/10/25
		FN AS1317	4.0	1,367	1,469	176,050	2043/12/ 1
		GNMA 30YR 589197	6.5	18	21	2,522	2032/ 8 /15
		GNMA 364408	6.5	12	13	1,646	2023/11/15
		SBAP 1998-20F 1	6.3	83	87	10,423	2018/ 6 / 1
	SBAP 97-20E	7.3	7	7	876	2017/ 5 / 1	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	4580% DBL CMO V 2A2A	45.8	0.104	0.01653	1	2018/ 9 / 1
		BSARM 04-7 4A	2.57924	85	83	10,063	2034/10/25
		CD_06-CD3 AM	5.648	200	211	25,394	2048/10/15
		COMM 2012-CR1 XA IO	2.111338	1,854	188	22,555	2045/ 5 /15
		COMM MORTGAGE TRUST	2.965	500	515	61,759	2047/ 8 /10
		COMM MORTGAGE TRUST	2.801	500	511	61,319	2047/11/10
		DBL CMO TRUST V 1A1A	—	0.41604	0.41384	49	2018/ 9 / 1
		DBRR TRUST 2011-C32 A3A	5.72057	1,000	1,070	128,286	2049/ 6 /17
		GS MORTGAGE SECURITIES T	2.924	225	232	27,869	2047/ 1 /10
		JP MORGAN CHAS CMMRCI IO	0.0648	73,835	351	42,148	2046/12/15
		JP MORGAN CHASE COMMERCIAL	5.058	1,000	1,111	133,175	2043/ 6 /15
		JPMBB COMMERCIAL MORTGAG	2.9403	500	515	61,807	2047/11/15
		JPMCC 2002-C1B4 C	6.45	259	268	32,149	2034/ 5 /12
		JPMCC 2010-C2 A3	4.0698	400	432	51,783	2043/11/15
		MSBAM 2014-C18 A2	3.194	500	521	62,432	2047/10/15
合 計						2,128,954	

* 邦貨換算金額は、第156期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。ただし、数値が単位未満の場合は小数で記載。

アセットバック証券オープン マザーファンド

第17期(2014年4月24日決算)

(計算期間：2013年4月25日～2014年4月24日)

《運用報告書》

受益者のみなさまへ

アセットバック証券オープンマザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

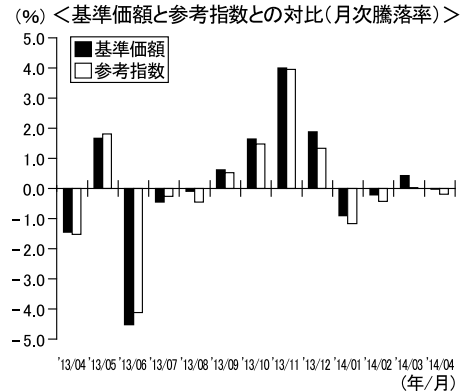
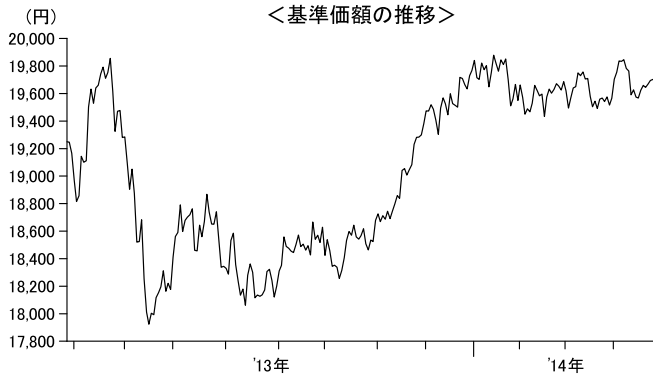
運用方針	主として米国ドル建てのアセットバック証券に分散投資し、高収益の獲得およびリスクの分散を図ることを目指します。運用にあたっては、アセットバック証券の独特なリターン特性やリスク特性の分析に基づき、主要な3つのセクター(MBS(Mortgage Backed Securities)、CMBS(Commercial Mortgage Backed Securities)、ABS(Asset Backed Securities))への資産配分、個別投資銘柄選定、デュレーションマネージメントを行い、アクティブに運用することを基本とします。
主な投資対象	米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券を主要投資対象とします。なお、一部米国国債、米国政府機関の発行した債券および米国ドル建て以外のアセットバック証券に投資する場合があります。
主な投資制限	株式への投資は転換社債を転換したもの等に限る、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

◎運用実績



＜基準価額の推移＞

基準価額は、期初19,249円から期末19,700円となりました。

＜基準価額の主な変動要因＞

- ・2013年6月に、FOMC(米連邦公開市場委員会)後の会見でバーナンキFRB(米連邦準備制度理事会)議長が年内の資産購入縮小開始に言及したことを背景にアセットバック証券市場が下落したこと。また日銀が金融政策決定会合で資金供給オペの長期化を見送るなど、金融政策の据え置きを決めたことなどから、ドル安・円高となったこと
- ・2013年11月に、米国の一部経済指標が市場予想を上回ったことなどから、金融緩和策が縮小されるとの見方が強まったことや、FRBが発表したFOMCの議事録において、経済の改善に伴い、月間850億米ドルの債券購入規模を数ヵ月以内に縮小する可能性があることと示唆されたことなどから、ドル高・円安となったこと
- ・2014年1月に、12月の米雇用統計が市場予想よりも悪化したことなどから、ドルが下落し、さらに中国の景気減速懸念や、アルゼンチン中央銀行の為替介入停止によるアルゼンチン・ペソの急落などから、リスク回避の動きが強まり、ドル安・円高となったこと
- ・期を通して、保有したアセットバック証券などからのインカムゲイン(利息・配当収入)を得たこと

＜基準価額と参考指数との差異とその要因＞

参考指数としているBofA・メルリリンチ米国5年国債インデックス(円換算ベース)が+0.8%となったのに対し、基準価額は+2.3%となりました。主な差異の要因としては、高位に組み入れたアセットバック証券の価格が上昇したことなどでした。

*参考指数(=BofA・メルリリンチ米国5年国債インデックス(円換算ベース))は、BofA・メルリリンチ米国5年国債インデックス(現地通貨ベース)をもとに、当社において円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の米ドル為替レート(対顧客電信売相場仲値)で円換算しております。
(出所、許可)バンクオブアメリカ・メルリリンチ、(出所)ブルームバーグ

◎運用経過

- (1) 米国のアセットバック証券(MBS、CMBS、ABSなど)を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

上記の運用方針のもと、当期間は以下のような運用を行いました。

- ・セクター配分は、MBSやCMBS等のアセットバック証券を中心とした投資を維持しました。
- ・ファンドの平均デュレーションは、市場変動に応じて調整しました。
- ・組入債券の信用格付けについては、保守的なスタンスを継続し、投資適格債中心のポートフォリオを維持しました。

◎今後の運用方針

引き続き、アセットバック証券を中心に国債・政府機関債を加えたポートフォリオを基本とした運用を行う予定です。デュレーションについては現状水準をベースとしながら、市場の変動に応じて調整していく方針です。

投資するアセットバック証券各セクターの運用方針は以下の通りです。

- ①MBSは、当面は現状程度の組入比率を維持しながら、スプレッドの変化に応じて組入比率を調整していく予定です。
- ②CMBSは、同程度の格付けを持つ国債や社債と比べ、高い利回りを有しています。ファンドにおいては現状程度の高位組入を維持しながら、高水準のインカムを享受していく方針です。
- ③ABSは、ファンダメンタルが堅調であるとともに、国債に対して利回りが若干高いため、ポジティブに見ています。そのため、短期部分で、機動的に組入れる可能性があります。

◎1万口当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 保 管 費 用 等	9円
合 計	9

* (a)保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

*各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

◎期中の売買及び取引の状況(自 2013年4月25日 至 2014年4月24日)

●公社債

	買 付 額	売 付 額
外 国		
ア メ リ カ	千米ドル	千米ドル
国 債 証 券	11,351	11,124
特 殊 債 券	5,960	4,910
		(281)
社債券(投資法人債券を含む)	3,659	8,095
		(149)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

* ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

◎組入資産の明細

●外国(外貨建)公社債

区 分	期 首					当 期 末							
	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
			5年以上	2年以上	2年未満		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	% 98.0	% —	% 97.0	% 1.0	% —	千米ドル 100,797	千米ドル 21,180	千円 2,170,956	% 99.3	% —	% 70.9	% 28.3	% —
合 計	98.0	—	97.0	1.0	—	100,797	21,180	2,170,956	99.3	—	70.9	28.3	—

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*—印は組み入れなし。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

外国(外貨建)公社債銘柄別

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
国 債 証 券	US TREASURY N/B	1.625	1,500	1,493	153,125	2019/3/31
特殊債券(除く金融債)	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.086	2,000	2,006	205,687	2019/3/25
	FHMS K033 A2	3.06	4,522	4,491	460,367	2023/7/25
	FHMS K706 A2	2.323	2,350	2,393	245,322	2018/10/25
	FN ASI317	4.0	1,477	1,544	158,336	2043/12/1
	GNMA 30YR 589197	6.5	28	31	3,250	2032/8/15
	GNMA 364408	6.5	12	14	1,488	2023/11/15
	SBAP 1998-20F 1	6.3	126	134	13,764	2018/6/1
普通社債券(含む投資法人債券)	SBAP 97-20E	7.3	14	14	1,515	2017/5/1
	4580% DBL CMO V 2A2A	45.8	0.279	0.07323	7	2018/9/1
	BSARM 04-7 4A	2.7855	110	109	11,251	2034/10/25
	CD_06-CD3 AM	5.648	200	218	22,393	2048/10/15
	CGCMT 2013-GC15 XA	1.468931	5,596	401	41,134	2046/9/10
	CITIGROUP COMMERCIAL MOR	5.89268	1,000	1,111	113,931	2049/12/10
	COMM 2007-C9 A4	5.98626	350	393	40,295	2049/12/10
	COMM 2012-CR1 XA IO	2.398416	1,945	225	23,099	2045/5/15
	COMMERCIAL MORTGAGE PASS	2.35	1,000	1,021	104,716	2045/5/15
	DBL CMO TRUST V 1A1A	—	1	1	114	2018/9/1
	DBRR TRUST 2011-C32 A3A	5.93412	1,000	1,076	110,349	2049/6/17
	JP MORGAN CHAS CMMRCI IO	0.0648	73,835	368	37,817	2046/12/15
	JP MORGAN CHASE COMMERCIAL	5.058	1,000	1,118	114,653	2043/6/15
	JPMCC 2007-CB20 A4	5.794	1,000	1,114	114,227	2051/2/12
	JPMCC 2007-LDPX A1A	5.439	820	903	92,650	2049/1/15
	JPMCC 2010-C2 A3	4.0698	400	425	43,634	2043/11/15
	LBUS 2007-C7 AM	6.37039	250	284	29,183	2045/9/15
	WBCMT 2006-C29 A4	5.308	256	279	28,637	2048/11/15
合 計		—	—	—	2,170,956	—

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

◎投資信託財産の構成

(2014年4月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	2,170,956	99.1
コール・ローン等、その他	18,739	0.9
投 資 信 託 財 産 総 額	2,189,695	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産(2,180,776千円)の投資信託財産総額(2,189,695千円)に対する比率は99.6%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=102.50円。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2014年4月24日)現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	2,205,050,821
コール・ローン等	9,542,497
公社債(評価額)	2,170,956,384
未 収 入 金	16,034,942
未 収 利 息	8,496,518
前 払 費 用	20,480
(B) 負 債	17,973,500
未 払 金	15,373,500
未 払 解 約 金	2,600,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,187,077,321
元 本	1,110,197,784
次 期 繰 越 損 益 金	1,076,879,537
(D) 受 益 権 総 口 数	1,110,197,784口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,700円

◎損益の状況

(自 2013年4月25日 至 2014年4月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	96,237,033
受 取 利 息	96,191,624
そ の 他 収 益 金	45,409
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 44,161,285
売 買 益	85,096,585
売 買 損	△ 129,257,870
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,099,384
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	50,976,364
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,264,188,304
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	30,108,377
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 268,393,508
(H) 計 (D + E + F + G)	1,076,879,537
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,076,879,537

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注)期首元本額1,366百万円、期中追加設定元本額35百万円、期中一部解約元本額292百万円、計算口数当たり純資産額19,700円。

(注)当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額、アセットバック証券オープンCコース372百万円、Dコース737百万円。